研究科について
About Us

ヴォイス1・就職企画室インタビュー第1回

キャリアビジョンは固定のものではない

情報科学研究科　2011年度就職企画室室長
教授　**金子 俊一**

学生に言ってあげたいこと：キャリアビジョンは固定のものではない

――職員の間では金子先生はエンターテイナーだという噂があります。金子先生が日頃人とのコミュニケーションを大事にしている姿も、これから社会人として生きていくために学生へ伝えたいことの中に含まれているのでしょうか。

就職企画室の狙いは、一も二もなく学生支援です。具体的に言えば、主に学校推薦を希望する学生をどう支援するかということです。

求人のあった企業は、社会全体が不景気・就職難と言われていますが、今年度卒業・修了予定者で397社でした。就職企画室が計算している業種の割合は求人の割合ではなく、内定先の割合になりますが、大勢は変化なく情報や電気といったところを中心に求人が来ています。でも求人はそこに限らず、情報のスキルを持った人がほしいということで、いろいろなところから来ています。

――「とりあえず新卒で就職したい」という焦りを学生が持ってしまうのも自然かと思いますが、30歳、40歳になっていく自分を考えて将来のキャリアビジョンを組み立てるサポートも、就職企画室が行う進路ガイダンスの中に含まれているのでしょうか。

ガイダンスの目的は、就職に限ったものではなく、大学院進学も含めた全体について、進路の情報を伝えることと、進路についての意欲を高めてもらうことです。求人数とか業種といった就職の詳しいデータは就職企画室のホームページ、キャリアセンターのホームページをはじめとしていろいろなところに載っていますから、ガイダンスで学生に説明する内容で、特に大事にしたことは「気持ち」とか「考え方」ですね。僕らは就職の難しいことも学生に伝えないといけないので、進路ガイダンスではそういうことも話しました。

キャリアビジョンを持ちなさい、とはよく言われていることですけど、個人的には容易なことではないと思いますね。本当のことを言うと、我々すらも持っていない。10年後、20年後の自分のビジョンを持とうとするのは難しいですよ。もうお亡くなりになりましたが筑紫哲也さんが好きで、若い人たちがキャリアビジョンを決めるように言われていることについて、彼は「自分のキャリアビジョンなんて簡単に言えません。キャリアビジョンは死ぬまで決まらないんだから」と言っていました。我々は若い人たちに、「自分の人生のキャリアビジョンっていうのをちゃんと決めなさいよ」としたり顔で言ったりするけれども、筑紫さんも「私だって自分のキャリアビジョンなんて言えませんよ」と言っている。だから学生に言ってあげたいのは、「キャリアビジョンを今すぐに固定しなくてもいい、今決めなければならないことはあるけど、それは変わったって良いんだよ」ということです。

今ここで決めたことを20年間変えてはいけない、なんて言われたら学生は大変ですね。そんな大きなこ

とは要求できないし、そんなことができる人間はなかなかいないと思います。でもだからといって、決まっていなくてもいいという意識は良くない。進路ガイダンスの後に、アンケートで進路の第一希望、第二希望って書かなければいけないので、決めようとする努力は必要ですね。就職の場合には、たとえば学校推薦の関係もありますから、そのとき決めてアンケートに書いて提出した希望によっていろいろなことが動いていくわけですよね。だから、１週間後に「やっぱりやめた」となるような決め方は良くない。「自分とよく相談して気持ちを広く持って将来を考えることが大切」と学生に言ってあげれば良い。そういったことも進路ガイダンスでは話しましたよ。

目次 « < 1 2 3 > »

理工系大学院 博士後期課程学生のための MBA特別コース
量子集積エレクトロニクス研究センター
RIES 電子科学研究所 Reseach Institute for Electronic Science
情報基盤センター Information Initiative Center
北海道大学 URAステーション 科研費獲得支援コンテンツ
探す、見つける。研究シーズ検索

ページの先頭へ

北海道大学 | 工学部 | 大学院工学院 | 大学院工学研究院 | 工学系教育研究センター | 工学系連携推進部

■ 研究科について
研究科長からのメッセージ
教育理念と目標・計画
情報科学研究科の組織
歴史・沿革
キャンパス環境
フロアマップ
ヴォイス

■ 教員一覧

■ 専攻・講座について
専攻・講座一覧
情報理工学専攻
情報エレクトロニクス専攻
生命人間情報科学専攻
メディアネットワーク専攻
システム情報科学専攻

■ 教育活動・学務情報
カリキュラム
奨学金のお知らせ（日本学生支援機構）
奨学金のお知らせ（民間団体・地方自治体等）
ISTラウンジ
講義情報
学位論文題目一覧
学位申請
証明書発行
学生生活
学生支援事業
研究補助業務(RA雇用)

■ 研究科ニュース

■ 研究活動・産学官連携
研究業績
寄附講座,連携講座
ネットジャーナル
研究関連写真集
受賞一覧
共同研究

■ 入試情報について

■ 就職情報

■ 広報・発行誌

■ 研究科からのお知らせ

■ 関連リンク

■ 交通アクセス

サイトマップ　サイトポリシー　お問い合わせ

北海道大学大学院情報科学研究科
〒060-0814　札幌市北区北14条西9丁目

Copyright © Graduate School of Information Science and Technology, Hokkaido University. All rights reserved.

研究科について
About Us

ヴォイス1・就職企画室インタビュー第1回

直接先輩と話す内容が、進路についての一番の価値ある情報

――情報科学研究科を卒業していった学生が、北楡会の行事や産業技術フォーラムといったイベントの時に帰ってきて、例えば「会社での生活は自分の思い描いていたイメージとは違うけど、それなりに楽しい」といった声もありますか。

そういう声の方が多いです。僕の研究室の話ですが、卒業生がお盆やお正月によく遊びにきて、僕のところをちょっと覗いてあいさつに来ることもありますよ。あいさつに来るのは、元気な社会人が多いですね。卒業した後に大学に来て先生に会って何かを話そうという卒業生は、きっと今幸せな社会人でしょう。そういう卒業生しか来ないから、卒業生全員が幸せだと思ってしまうけど、必ずしもそうじゃないでしょうね、そんなに甘いものではないでしょう。社会に出てあまり良い状況にいない卒業生は、よほど困らないと来ないですからね。だから研究室に来る卒業生に限っての情報収集になりますけど、企業や研究所に就職して「頑張っています！」「満足です！」という声がほとんどです。そういう意味では人材育成、就職支援はやりがいのある仕事だと思います。就職企画室長としてではなく、研究室の運営者としての話になりますが、僕が指導した学生はほとんど、僕の専門である画像処理とか、画像解析とか、画像計測とか、そういう分野でずっと仕事をしていますから、それはありがたいですね。学生時代に学んだ、自分がプロパーだと思う学問や技術、そういうものを続けて活動してくれるのはありがたいです。

――研究室によっては先輩が少なく、研究室単位では先輩と話す機会がないところもあります。産業技術フォーラムでは企業の方々と懇談の場と時間も設けられていますが、学生が就職に関する情報提供を一方的に受けるのではなく自分から先輩にアプローチして自分のやりたいことを考えていく場を提供していると捉えても良いのでしょうか。

まさにそうです。先輩と話す内容が一番価値のある情報だと思います。就職企画室は、学生にとって価値のある情報をいかに集めて、いかに学生に提供するかということの支援を行うところです。それが例えば産業技術フォーラムの開催であったりします。講演している企業の話を聞いて、あるいは人事担当者の話を聞いて、先輩の話を聞いて、そして自分の話を聞いてもらう。そういう実際に人に会っての交流を学生に提供するのが、産業技術フォーラムのもっとも大事なことです。やはり、人と会う、face to faceが基本です。直接先輩と話をして、自分のイメージしていたことと違う部分を見つけることもあるでしょうし、また新たに知る部分もあるでしょう。就職企画室のイベントは、学生の進路を決める契機というかトリガーというか、何かを始める動機にはなるでしょうね。

就職というと、気持ちの中では自分の希望の方が先にあって、それをどう社会に出て実現していくかということを考えますよね。そのときの自分の希望とか満足というものは、ある固定のもの、というイメージがありますよね。でも希望とか満足というのは、実はどんどん変わっていくんですよ。だから社会に出たら、その変わっていく自分を楽しまなければいけない。自分が外から影響を受けるということは、すごく楽しいことだと思いますよ。就職に例えて言うなら、ある学生がA社に入りたいとする、「A社が大好きなんだ」とね。だけど、A社には入れなくてB社に入った。そうすると、A社に入りたいという強い希望を持っていたその学生はB社に入ったんだから、きっと不幸ですよね。でもそこで「A社に入

理工系大学院
博士後期課程学生のための
MBA特別コース

量子集積エレクトロニクス
研究センター

RIES 電子科学研究所
Reseach Institute for
Electronic Science

情報基盤センター
Information Initiative Center

北海道大学 URAステーション
科研費獲得支援コンテンツ

探す、見つける。研究シーズ検索

れなかった、不幸だ」で終わらせたら、人生短いんですからもったいない。だから、A社に行きたかった自分はかつていたけれども、実際にはB社に入った、じゃあ、B社のいいところをどんどん見ていって、「B社に入ってよかったな」と思った方が人生得です。自分が就職した組織の良いところを、自分から見つけなければならない。そういうのはある意味で能力、力ですよ。そういう能力は、学生たちは持っていなければいけないですよね。ただひたすら、自分の好きなことばかりやっていても、そういう能力は身につかない。積極的に自分から見ていかなければならない。「あの人良い仕事をしているね」「このB社は、最初は気づかなかったけれど、社会に良い貢献をしているね」とかね。そういうことができる能力というのは、進路を選ぶときには大事だと思います。昔でいうと、「人生いたるところに青山あり」。青い山がないなあと思っていても、実は入ってみると「お、結構良い山じゃないですか！」ということですよね。そういうふうに思った方が、僕は元気が出てきます。

目次 « < 1 2 3 > »

ページの先頭へ

北海道大学 | 工学部 | 大学院工学院 | 大学院工学研究院 | 工学系教育研究センター | 工学系連携推進部

■ 研究科について
研究科長からのメッセージ
教育理念と目標・計画
情報科学研究科の組織
歴史・沿革
キャンパス環境
フロアマップ
ヴォイス

■ 教員一覧

■ 専攻・講座について
専攻・講座一覧
情報理工学専攻
情報エレクトロニクス専攻
生命人間情報科学専攻
メディアネットワーク専攻
システム情報科学専攻

■ 教育活動・学務情報
カリキュラム
奨学金のお知らせ（日本学生支援機構）
奨学金のお知らせ（民間団体・地方自治体等）
ISTラウンジ
講義情報
学位論文題目一覧
学位申請
証明書発行
学生生活
学生支援事業
研究補助業務(RA雇用)

■ 研究科ニュース

■ 研究活動・産学官連携
研究業績
寄附講座,連携講座
ネットジャーナル
研究関連写真集
受賞一覧
共同研究

■ 入試情報について

■ 就職情報

■ 広報・発行誌

■ 研究科からのお知らせ

■ 関連リンク

■ 交通アクセス

サイトマップ　サイトポリシー　お問い合わせ

北海道大学大学院情報科学研究科
〒060-0814　札幌市北区北14条西9丁目

Copyright © Graduate School of Information Science and Technology, Hokkaido University. All rights reserved.

研究科について
About Us

ヴォイス1・就職企画室インタビュー第1回

その時自分に必要とされる身のこなしを判断・提供することも能力

――北楡会母校交流会で卒業生から自分の組織に入ってくる後輩について、北大生は必ずしも入社して即戦力とはならなくても、４年目、５年目から力を出してくる、という声がありました。そういうところは、２、３年で自分で固めてしまったキャリアビジョンと違うからといって辞めてしまわない、北大生の適応力と言いますか、大器晩成型と言えるのでしょうか。

それは、確かにあると思いますよ。もちろん、早く立ち上がってそれをずっと継続するのが一番良いんでしょうけど。北大生は奥手というか、大器晩成型と言えばかっこいいですね。そういう粘り強い特性みたいなものは、広い意味で持っていると思います。僕の個人的な印象ですけど、大学の特性というか、大学の置かれている状況とも関係しているかもしれませんね。僕は東京の大学にも16年いたんですけど、北海道と東京では、情報の量が違うんですよね。東京大学をはじめとして、慶応、早稲田があって、大学がたくさんありますよね。北大とそういうところの情報の流れはかなり違うんですよ。東京の早い流れの中に入っている人と、北海道の遅い流れの中に入っている人がどういう泳ぎをするかということの違いとも言えます。東京なんかは情報の流れがすごく速いし、情報の量も多い。例えば、企業説明会もたくさんあるし、その説明会場に行くにもお金がかからない、電車賃だけで行ける。そうすると、情報がとにかく来る。だから、その情報を素早く処理する能力が必要ですし、大学として最先端で情報を処理していくということを研究にも位置付けるということが結構多いんですよ。だけど北大は幸か不幸か、そこから離れている。きっと、情報の流れが遅いんですね。そうすると、そういうところで大学を維持していくためには、最先端の内容を研究テーマにするよりは、じっくり、基礎的な研究テーマを持っていらっしゃる先生の方が多いような気がするのです。北大の学生は、そういう研究テーマを先生と一緒にやっていきますから、学生時代に、物事は外の様相ではなく「根元」が大事なんだと気付くのではないですか？そういった教育をされているのかもしれませんね。ただ、そのことはそのこととして、北大生がよく言われることは、やっぱりもう少し世間の知識は持っていてもらった方がいいですよね。言葉の操り方とか、人にアピールする力も含めて。人当たりが良くて、コミュニケーションができて、情報も素早くキャッチできて、身のこなしも良くて、センスが良くて、みたいなね。いわゆる、今風で言うと「イケメン」。例えば、時にはあえて早口で話さなければならないこともありますよね。その時自分に必要とされる身のこなしをすること。ケースバイケースですよね。そういう能力は、これからもっと必要になると思いますよ。そういうことを就職企画室のガイダンスでも意識付けはしました。

それと、僕は研究科全体の就職企画室の室長でもあるけれど、一専攻の就職企画室員でもあるから、僕の専攻の学生には研究科の会議室を借りて土曜日を3回くらい使って面接指導をしましたよ。個別の面接指導とか、そういうことをあまりされない専攻もありますし、去年は僕の専攻もやっていなかったかもしれないですけど。面接指導には専攻の学生の40%くらいは来たかな。二度も三度も来た学生もいましたよ。僕の場合は、娘が去年就職活動をして今年の4月に就職したこともあって、娘が就職活動しているときに読んでいた就職活動のための本が手元にあったんですよ。それを借りて読んでみたら、すごく勉強になったんです。これは学生に伝えた方が良いぞと思って。それは第３回のガイダンスの資料で１ページに集約しています。（図1）

僕の研究室の話ですが、去年、学生に専攻の面接指導プラスアルファで、マナー講座を２回くらいやり

サイト内検索 Google
検索
twitter 情報科学研究科 公式twitter
北海道大学工学部 情報エレクトロニクス学科
グローバルCOEプログラム 「知の創出を支える 次世代ＩＴ基盤拠点」
科学技術振興機構 ERATO 湊離散構造処理系プロジェクト
北海道大学 サステナビリティ・ウィーク Hokkaido University Sustainability Weeks

理工系大学院
博士後期課程学生のための
MBA特別コース

量子集積エレクトロニクス研究センター

RIES 電子科学研究所
Reseach Institute for Electronic Science

情報基盤センター
Information Initiative Center

北海道大学 URAステーション
科研費獲得支援コンテンツ

探す、見つける。研究シーズ検索

ましたよ。僕の高校の同期で、高校のマナー教室をやっている人がいるんです。その人を連れてきてやってもらいました。その同期の名刺には肩書として、「コミュニケーションデザイナー」って書いてある。コミュニケーションをデザインする、要するに、何か自分がものを持っているんだったらそれを人に伝えていく、ということです。北大生に足りないのは、自分が持っているものを人に伝えるスキルだとよく言われます。力とか、知識とか、人間性とか、何かは持っている。特に北大生が人間性が強いというわけではないけど、何かを持ってはいると思うんです。せっかく持っているんだから、就職の場合には、それを企業の人に伝えられないとね。特に「伝える」っていう力を学生にはつけてもらいたいなと思っています。

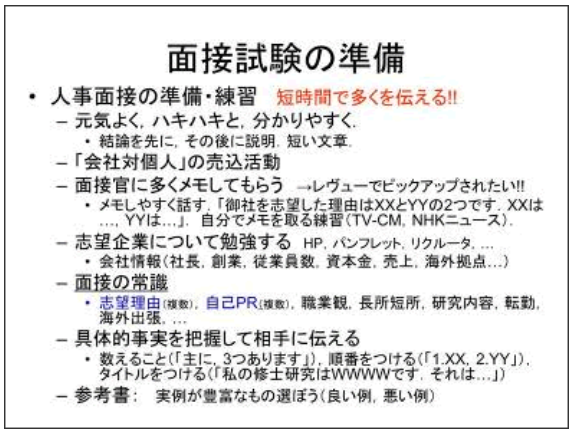

図1／金子先生オリジナルの面接試験準備の資料

（2012/01/11）

<第2回に続く>

目次 « < 1 2 3 > »

ページの先頭へ

北海道大学 | 工学部 | 大学院工学院 | 大学院工学研究院 | 工学系教育研究センター | 工学系連携推進部

■ 研究科について
研究科長からのメッセージ
教育理念と目標・計画
情報科学研究科の組織
歴史・沿革
キャンパス環境
フロアマップ
ヴォイス

■ 教員一覧

■ 専攻・講座について
専攻・講座一覧
情報理工学専攻
情報エレクトロニクス専攻
生命人間情報科学専攻
メディアネットワーク専攻
システム情報科学専攻

■ 教育活動・学務情報
カリキュラム
奨学金のお知らせ（日本学生支援機構）
奨学金のお知らせ（民間団体・地方自治体等）
ISTラウンジ
講義情報
学位論文題目一覧
学位申請
証明書発行
学生生活
学生支援事業
研究補助業務(RA雇用)

■ 研究科ニュース

■ 研究活動・産学官連携
研究業績
寄附講座,連携講座
ネットジャーナル
研究関連写真集
受賞一覧
共同研究

■ 入試情報について

■ 就職情報

■ 広報・発行誌

■ 研究科からのお知らせ

■ 関連リンク

■ 交通アクセス

› サイトマップ › サイトポリシー › お問い合わせ

北海道大学大学院情報科学研究科
〒060-0814 札幌市北区北14条西9丁目

Copyright © Graduate School of Information Science and Technology, Hokkaido University. All rights reserved.